

これら老朽資産の更新事業を計画的に進め、国の認可を上水道事業から簡易水道事業へと変更し、経営基盤の強化を図って適切な水道施設の維持管理に努めてまいります。

下水道事業については、快適な生活環境の確保や公衆衛生の向上、自然環境の保全など、多様な機能を有し都市基盤の中心となる社会資本であり、下水道管渠新設工事については、昨年に引き続き港町付近の整備を行ってまいります。

《環境衛生》

産業廃棄物については、排出者の責任で処理することを徹底し、不法投棄については監視カメラを導入するなど、監視体制を強化してまいります。

《環境美化》

薬師山の芝桜については、ここ数年満開にならない状態が続いておりますが、まずは原因を探りながら景観の維持管理に努め、あらゆる手法により、取り組みを行ってまいります。

《消防と救急》

木古内消防署の消防力の充実のため、消防車両や施設、設備の整

備を消防施設整備計画により進めてまいります。

本年は、高規格救急自動車や人員輸送広報車の整備を行うこととしております。

《防災》

近年、自然災害の増加から当町でも避難所を開設することがあり、住民の防災意識や関心も高まっております。特に昨年は、台風21号や北海道胆振東部地震による長時間にわたる停電などから避難所を開設しており、今後も早めの避難を呼びかけてまいります。

《交通安全・防犯》

木古内警察署や交通安全推進委員会などと連携し、幼児から高齢者までそれぞれの対象に応じた交通安全教育を推進いたします。

防犯意識の向上と防犯体制強化に努め、安全安心まちづくり住民大会を開催し、犯罪のないまちづくりを目指してまいります。

行財政・住民参加

《行政運営》

様々な行政課題への確・迅速に対応できる組織運営のため、各種施策を計画的に推進し、効果的な

人事管理を図ってまいります。

そのため、人事評価制度の効果的な活用や各種研修による能力開発、また、国が進める働き方改革などを推進し、時代の変化に対応した組織づくりを目指してまいります。

《財政運営》

歳入の約半分を占める地方交付税は、人口減少等の影響により年々減少傾向にあります。自主財源である町税については、北海道新幹線の施設整備により固定資産税額が増収しておりますが、永続的に運営可能な財政基盤を確立するため、平成31年度からコンビニ収納を開始し、納税者の納税環境改善と収納率向上を目指すと共に、町税等の増収につながる地域経済発展のための施策を引き続き推進してまいります。

歳出では、全国的に公共・公用施設、インフラ等の適正管理・長寿命化対策が急務となっており、将来的な負担増が懸念されております。当町においても、平成30年度から31年度にかけて、中央公民館・ファミリースポーツセンターの長寿命化工事を実施しておりま

す。今後も個別施設計画に沿った公共施設等の長寿命化に取り組んでまいります。

《住民参加・協働》

町の重要施策や発展計画、大型プロジェクトの取り組みなどについては、広く住民の意見を求め、企画立案の過程から意見反映してまいります。

終わりに、活力と元気に満ち溢れ、生涯にわたり希望や生きがいを持ち続けられる北の大地の福祉都市『きこない』の実現を目指し、議会並びに住民の皆様のご協力のもと、ふるさと木古内の輝かしい未来の創造に全力を尽くし、誠意取り組んでまいります。